

# ふくやま 市議会だより

ばらのまち福山



FUKUYAMA



No.50

**3月定例会**  
2014年(平成26年)5月1日

●今月の表紙●  
絵本をテーマにした  
親子体験型施設  
「福山市えほんの国」

発行 / 福山市議会

〒720-8501 福山市東桜町3番5号  
TEL.084-928-1136 FAX.084-920-1104

3月定例会の概要	2
議案の審議結果	2～4
代表質問	5～9
一般質問	9～10
委員会の活動	11
議員研修会	12

# 平成26年3月定例会



平成26年第1回定例会（2月25日～3月19日／会期23日間）の概要は次のとおりです。

**25日** 総務課長が3件の市長専決処分について報告

市長が市政の状況と92議案の提案理由を説明

**3日～5日** 議案や市政全般について6人の議員が代表質問

**6日** 議案や市政全般について5人の議員が一般質問

**6日質問終了後** 市長が14件の追加議案の提案理由を説明

一般会計などの当初予算案16件と補正予算案12件の合わせて28件は、予算特別委員会を設置して付託、それ以外の78議案は所管の常任委員会に付託

**7日** 4常任委員会でそれぞれ議案を審査

**10日～14日** 予算特別委員会で議案を審査

**19日** 議案を審査した4常任委員会と予算特別委員会の委員長から審査結果の報告がありそれぞれ採決し、106議案を原案どおり可決

副市長の選任について同意

議員提出の意見書案2件を可決

## この定例会で決まったこと（一部をお知らせします）

### ■26年度当初予算

一般会計 1,646億7,900万円  
特別会計 936億1,738万1,000円  
企業会計 643億4,305万1,000円

### ■25年度補正予算

○小学校校舎（9校）、中学校校舎（2校）  
中学校武道場等（8校）の耐震補強等改修の予算

### ■条例

○26年度から、市立金丸保育所を市立常保育所に統合し、常保育所の名称を常金丸保育所に改めます。（市立保育所条例の一部改正）

○ものづくり交流館をエフピコRiMの7階と、9階の一部に設置し、地域のものづくり産業の紹介、ものづくり体験や市民交流の場の提供などを行います。（ものづくり交流館条例の制定）

## 平成26年第1回定例会 議案の審議結果一覧

賛否が分かれた案件	水曜会	公明党	誠勇会	市連	民合	日本共産党	新政クラブ	無所属		採結	決果	付託委員会
								※1	※2			
■26年度一般会計予算※3	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	予算特別	
■26年度都市開発事業特別会計予算	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	予算特別	
■26年度国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	予算特別	
■26年度介護保険特別会計予算	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	予算特別	
■26年度後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	予算特別	
■26年度食肉センター特別会計予算	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	予算特別	
■26年度商業施設特別会計予算※3	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	予算特別	
■26年度病院事業会計予算	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	予算特別	
■26年度水道事業会計予算	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	予算特別	
■26年度工業用水道事業会計予算	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	予算特別	

○は賛成、×は反対

次ページに続く

賛否が分かれた案件	水曜会	公明党	誠勇会	市連	民合	日本共産党	新政クラブ	無所属		採決結果	付託委員会
								※1	※2		
■26年度下水道事業会計予算	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	予算特別
■職員定数条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	総務
■行政財産の使用料に関する条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	文教経済
■手数料条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	建設水道
■市立福山中学校及び市立福山高等学校授業料等徴収条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	文教経済
■ぬまくま交流館条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	文教経済
■生涯学習プラザ条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	総務
■公民館条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	文教経済
■図書館条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	文教経済
■福山城条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	文教経済
■ふくやま美術館及びふくやま書道美術館条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	文教経済
■ふくやま芸術文化ホール条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	文教経済
■神辺文化会館条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	文教経済
■ふくやま文学館条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	文教経済
■ぬまくま文化館条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	文教経済
■体育館条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	文教経済
■沼隈体育館条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	文教経済
■新市スポーツセンター条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	文教経済
■緑町公園屋内競技場条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	文教経済
■武道館条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	文教経済
■沼隈体育センター条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	文教経済
■運動場条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	文教経済
■福山テニスセンター条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	文教経済
■神辺テニスセンター条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	文教経済
■グラウンド・ゴルフ場及び芦田川グラウンド・ゴルフ場条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	文教経済
■障害者体育センター条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	文教経済
■福山すこやかセンター条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	民生福祉
■社会福祉会館条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	民生福祉
■市立保育所条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	民生福祉
■指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例等の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	民生福祉
■市民センター条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	総務
■市民交流センター条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	総務
■市民参画センター条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	総務
■沼隈サンパル条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	総務
■勤労青少年ホーム条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	総務
■自然研修センター条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	総務
■男女共同参画センター条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	総務
■保健所及び保健センター条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	民生福祉
■松永健康スポーツセンター条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	文教経済
■こども発達支援センター条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	民生福祉
■夜間成人診療所条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	民生福祉
■廃棄物の処理及び再生利用等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	文教経済
■斎場条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	総務
■動物愛護管理条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	民生福祉
■食肉センター条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決	文教経済

次ページに続く



賛否が分かれた案件	水曜会	公明党	誠勇会	市連 民合	日本 共産党	新政 クラブ	無所属		採 結	決 果	付 託 委員 会
							※1	※2			
■農水産物加工センター条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	可決	文教経済	
■水産物加工センター条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	可決	文教経済	
■内海多目的集会所条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	可決	文教経済	
■アリストぬまくま条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	可決	文教経済	
■沼隈産地形成促進施設条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	可決	文教経済	
■農村女性の家条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	可決	文教経済	
■フィッシャリーナ条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	可決	建設水道	
■漁港管理条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	可決	建設水道	
■商店街利便施設条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	可決	文教経済	
■内海ふれあいホール条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	可決	文教経済	
■クレセントビーチ海浜公園条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	可決	文教経済	
■あしだ交流館条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	可決	文教経済	
■道路占用料条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	可決	建設水道	
■港湾施設管理条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	可決	建設水道	
■都市公園条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	可決	建設水道	
■遊園地条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	可決	建設水道	
■上下水道企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	可決	建設水道	
■水道給水条例及び工業用水道条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	可決	建設水道	
■下水道条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	可決	建設水道	
■市民病院条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	可決	民生福祉	
■病院企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の制定	○	○	○	○	×	○	○	○	可決	民生福祉	
■25年度一般会計補正予算	○	○	○	○	×	○	○	○	可決	予算特別	
■副市長の選任の同意	○	○	○	○	×	○	○	○	同意	—	
■労働者保護ルールの堅持を求める意見書*	○	○	○	○	×	○	○	○	可決	—	

全員が賛成した案件（可決）

議案名の後の（ ）には付託委員会名を表記しています。

■26年度集落排水事業特別会計予算（予算特別）	■包括外部監査契約の締結（総務）
■26年度駐車場事業特別会計予算（予算特別）	■25年度都市開発事業特別会計補正予算（予算特別）
■26年度母子寡婦福祉資金貸付特別会計予算（予算特別）	■25年度集落排水事業特別会計補正予算（予算特別）
■26年度誠之奨学資金特別会計予算（予算特別）	■25年度国民健康保険特別会計補正予算（予算特別）
■26年度財産区特別会計予算（予算特別）	■25年度介護保険特別会計補正予算（予算特別）
■議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例及び消防団員等公務災害補償条例の一部改正（総務）	■25年度後期高齢者医療特別会計補正予算（予算特別）
■特別職の職員の給与に関する条例等の一部改正（総務）	■25年度駐車場事業特別会計補正予算（予算特別）
■教育支援委員会条例の制定（文教経済）	■25年度商業施設特別会計補正予算（予算特別）
■社会教育委員条例の一部改正（文教経済）	■25年度病院事業会計補正予算（予算特別）
■民生委員定数条例の制定（民生福祉）	■25年度水道事業会計補正予算（予算特別）
■青少年問題協議会設置条例の一部改正（総務）	■25年度工業用水道事業会計補正予算（予算特別）
■ものづくり交流館条例の制定（文教経済）	■25年度下水道事業会計補正予算（予算特別）
■市営住宅等条例の一部改正（建設水道）	■一般職員の給与に関する条例の一部改正（総務）
■損害賠償の額を定めること及び和解（民生福祉）	■児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正（民生福祉）
■市道路線の認定（建設水道）	■ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書*

※1：岡崎正淳議員 ※2：藤田仁志議員

※3：それぞれの予算に対し修正案が提出されましたが、否決しました。

賛否は、本会議後に会派等に確認したものです。

議案名の「福山市」等は一部省略して表記しています。

\*意見書の内容は福山市のホームページで見ることができます。[福山市のホームページ](#) → [福山市議会](#) → [決議・意見書](#)

# 代表質問

この定例会では、議案や市政全般について、各会派を代表して6人の議員が質問し、活発な議論を展開しました。その概要は、次のとおりです。

\*代表質問の録画放送を福山市のホームページで見ることができます。

## 水曜会



神原 則男

**市制施行100周年後の未来へ向けた26年度予算の具体は**

**問** 市長は、2年後の市制施行100周年、その後の未来へ向け、次のステージへ向かうことに意を用いたと編成方針を述べたが、その具体は。

**答** 協働のまちづくりを基盤に据え、重点政策として100万本のばらのまちづくりの推進や、福山駅周辺の中心市街地の魅力創出など「チャレンジ！100周年」の5つの施策をはじめ、都市ブランド戦略や競馬場跡地活用、市制施行100周年記念事業の推進など、26施策、約69億円を重点配分し、次の100年に向けての人づくり、仕組みづくりの本格的な基盤づくりの予算とした。

**市制施行100周年記念事業の進捗状況と今後の予定は**

**問** ①基本構想を策定し取り組んでいるが、進捗状況は。  
②まだ全体像が見えないが、今後のスケジュールは。

**答** ①昨年12月には基本構想に基づき各種団体の長で構成する推進委員会を開催し、幹事会や部会等の推進体制を決定した。本年2月24日には第1回目の幹事会を開催し、記念事業推進に当たっての目標に掲げる「市民の全員参加」

**どうする 鞆のまちづくり**

**問** 市長は、鞆の再生・まちづくりの活性化に向け、待ったなしの状況下、今本市が得意なことを積極的に取り組むとして、26年度は鞆関連事業に総額約4億7900万円の予算を計上した。埋め立て架橋計画の白紙撤回から約2年となるが、現在の本市の考えは。

**答** 大多数の住民が長年にわたって待ち望み、行政と一体となって取り組んできた計画を撤回した

と「100万本のばらのまち福山」の実現に向けたご意見を伺った。  
②26年度の早い段階で事業計画案予算案等を決定し、広報・PR活動を積極的にやりたい。また、27年1月からのプレイベントや28年1月からの記念事業の実施に向け取り組む。



市制施行100周年記念事業のシンボルマーク

重みを十二分に受け止め、知事自らの言葉で鞆のまちづくりに対する熱い思いを語り、将来に向けて希望が持てるよう、住民目線に立った対応をされることを強く望む。このような姿勢に立っていただけるのであれば、県の方針は容認できないという立ち位置の中で、調整役を担うとした私としても、しっかりとその役割を果たしていけると考える。

\* 3月定例会の代表質問の録画放送を見る場合

福山市のホームページ → 福山市議会 → 議会中継 → 録画放送はこちらから

→ 開催年：選択してください ▼ → 平成26年 → 平成26年第1回（3月）定例会

### 中学校給食をどう考える

**問** 小中一貫教育の取り組みが本格化しており、学校教育環境検討委員会で中学校給食についての議論が行われているようだが、考えは。

**答** 第一回目の会合で、委員から中学校給食を検討してほしい旨の意見をいただいた。今後、小中一貫教育を進める上で望ましい教育環境のあり方を審議いただく中で、中学校給食についてもより具体的な議論がされると考えており

検討委員会での議論を注視する。



新市町の小中学校で人気No.1の揚げパン

### 地域と連携して防犯カメラの設置を

**問** ①設置する場所と台数は。②行政、警察、地域住民や事業所等が連携した防犯活動は。

**答** ①26年度は、防犯上高い効果が期待できる公共空間や、不特定多数の市民が利用する本庁舎などに60台の設置を予定し、地域住民が不安を感じている場所に地域団体や事業者が設置する防犯カメラ50台分の助成を予定している。28年度までに、230台程度の

設置を予定しているが、設置に当たっては、プライバシーに十分配慮した管理・運用基準を策定し、補助する地域団体・事業者へは管理・運用ガイドラインを示すなど整備の趣旨・目的等を周知する。②引き続き行政機関だけでなく、地域・事業者と一体となった協働の取り組みを推進する中で、防犯



作動中の街頭防犯カメラ。カメラの設置もその一助としていきたい。

### 老朽化が進む廉塾の早急な保存修理を

**問** 江戸時代の儒学者である菅茶山が開いた私塾で、本市の誇れる貴重な文化財の一つである廉塾は、老朽化が進み、早急な保存修理が必要である。整備に当たっては所有者の意思が一番だが、協議内容と支援体制は。

**答** 昨年末に所有者と面談し、廉塾が全国に誇れる貴重な文化財であり、現行制度の中で保存に向けた検討を進めることをお互い確

認した。



廉塾（講堂）

協議して地域の皆さまのご協力も得ながら保護に努める。

今後は、建物の詳細な調査に向けた準備を進め、所有者の意向を尊重しながら、保存修理に向けた手続き等について積極的に支援し国・県など関係機関とも引き続き

### 公明党



塚本 裕三

### イノシシ被害の対策は

**問** ①捕獲を猟友会の協力による捕獲班に依頼しているが、現状と課題は。②捕獲したイノシシの処分は。③食肉加工施設を整備するなど捕獲したイノシシの肉を有効利

用する考えは。

**答** ①班員の平均年齢は65・6歳と高齢化が進み、後継者の確保や育成が喫緊の課題である。26年度は、狩猟免許取得費や猟銃所持許可申請費用の一部を補助する予定である。

②捕獲者の責任で自家消費するなど、適切に処理されている。③食肉加工施設の整備は、設置場所や運営主体、安定供給や採算性などのさまざまな問題があり、引き続き研究する。



## なぜ市県民税還付加算金が未払いとなったのか

**問** 市民が納め過ぎた市県民税を返す際の利子に相当する還付加算金で、約1600人に対し推計で1200万円の未払いがあった。その経緯と今後の対応は。

**答** 還付加算金の趣旨は、還付の原因が地方団体、納税者のどちら側にあるかにより還付加算金の起算日を変えることで公平性を保つことにあると考えている。

## 北京市教育交流推進事業の成果と今後は

**問** 25年度で6回目となった北京市との教育交流の成果と今後の取り組みは。

**答** 生徒は、北京の生徒の英語力や積極性、学習意欲の高さに驚きを持つとともに、自分の考えを伝えることの難しさや伝わったときの喜びを感じ、「もっと日常的に使える英語を身につけたい」「積極性やコミュニケーション力を高めたい」など、新たな目標を持つ

このたびの事例は、還付の原因が市側でない場合も納付日にさかのぼって還付加算金を算定することに公平性の観点から疑義が生じ県の見解を確認し、13年10月から取り扱いを変更したものである。対象の方に対しては、2月27日付けで「お詫びとお支払いの案内文書」を発送しており、3月14日から支払いを開始する。

ことができた。また、互いの国の文化、将来の夢などについて意見交換することで、日本や福山のすばらしさを改めて認識し、誇りを持って相手に伝えたいという思いを強くするなどした。

今後も、北京市教育委員会をはじめ、関係機関との連携を深めながら教育交流のさらなる充実を図る。



歓迎日本福山教育訪問団の全体师生  
首都師範大学附属第二中学校との交流

## 誠勇会



藤原 平

## 商工会議所等と連携した若者交流支援事業を

**問** 商工会議所等と連携した若者の出会いのきっかけや、交流の場づくりへの取り組みは。

**答** 近年、結婚したい人を支援するため、民間企業や商工会議所

## 大規模建築物の耐震診断への対応は

**問** 大規模建築物耐震診断費補助の制度があるが、現在の状況と今後の対応は。

**答** 本市では、大規模建築物で耐震診断義務建築物となる可能性がある民間建築物10棟の所有者に義務化について説明し、床面積や現在の利用状況、今後の施設のあり方等を確認している。

今後の利用形態が定まっていな

をはじめとする各種団体でもさまざまな取り組みが行われている。本市としては、各種団体のご協力をいただく中、若者の交流の場づくりなどを通じ、地域社会全体で若者の「結婚したい」といった思いを支援し、まちの活性化にもつなげていきたい。



を実施できる建築物は2件と判断している。残る対象建築物は27年12月31日の期限までに耐震診断を完了するよう指導し、必要に応じて耐震診断費補助の対応をする。



大地震が起こる前に耐震診断

市民連合



川崎 卓志

芦田川河口堰の耐震化対策は

問 河口堰の可動式ゲートが阪神・淡路大震災クラスの直下型地震で壊れて動かせなくなり川の氾濫を引き起こす恐れがあるとの報道があった。耐震化対策は重要と考えるが。

少子化、人口減少に歯止めをかける施策は

問 本市の人口は、2013年に転出が転入を上回る社会減となり、2012年には死亡数が出生数を上回る自然減となった。少子化や人口減少に歯止めをかけるための今後の施策は。

答 人口減少は、行政運営や経済、市民生活にも影響を及ぼす大きな課題と受け止めている。これまで「福山に住んでよかった。住み続けたい。」と実感でき

答 芦田川河口堰は、洪水時の調整機能、海水流入による塩害の防止や工業用水の供給など、重要な役割を担っている施設。

現在、国土交通省で大規模地震に対する安全性の調査・検討が行われていると聞いており、本市も市民生活や経済活動の面から耐震対策は重要な課題と考え、今後耐震対策の検討結果が出た段階で、連携して適切に対処する。



耐震化が急がれる河口堰

るまちづくりのための施策を実施してきた。今後も、人口減少社会の中にあっても豊かさを実現できるまちづくりに向け、結婚から妊娠、出産、子育てまでの一貫した支援や、次代を担う世代の人材育成などの施策を総合的に推進する。また、若年者や女性にとって働きやすい環境整備が必要。

日本共産党



河村 晃子

介護保険制度の改定について

問 国は介護保険制度の大幅な見直しを提案した。その内容は、①要支援1、2の訪問介護と通所介護を介護保険給付の対象から外す、②特別養護老人ホームへの入所は要介護3以上に

市制施行100周年に向け中学校完全給食の実現を

問 自校調理方式の給食は、全市的に食中毒がまん延する確率は低い。各学校に調理室が設置されるため、生徒は出来たての食事を食べることができ。また、教科や学校行事と連携した献立を組み立てやすいなど、高い教育効果が見込まれ、生徒指導上も有効である。

市制施行100周年に向け、全ての中学校での自校完全給食

限る、③所得によって介護保険の利用料を2割に引き上げる、④低所得でも預貯金や不動産があれば居住費、食費を補助しないなどとなっている。

国に制度改悪を行わないよう強く要望することを求める。

答 このたびの見直しは、国の社会保障制度改革国民会議の審議結果を踏まえ、制度の持続可能性を確保し、介護サービスの充実と重点化・効率化を図るものである。

の実施を求める。

答 本年1月に設置した学校教育環境検討委員会で、本市が小中一貫教育を進める上で望ましい教育環境のあり方について審議いただく中で、中学校給食についてもより具体的な議論がなされるものと考えており、検討委員会での議論を注視する。



※自校調理方式：学校の敷地内に調理施設があり、その学校分のみを調理する方式。



新政クラブ



大塚 忠司

シニアの運転手を考慮した道路整備を

**問** 本市の65歳以上の運転免許の保有者は約6万人で、高齢化に伴い増加傾向にある。シニアドライバーには動体視力の低下が大きな不安要因であり、夜

個人番号制度の導入に伴う取り組みは

**問** 国の計画では、自治体のシステム整備は28年3月ごろまでとしており、危機管理に努めながら、新たな制度構築に対応する必要があるが、庁内体制の整備は。

**答** 個人番号制度は全ての個人法人等に固有の番号を付与し、国の行政機関や地方公共団体同士が情報の照会、提供を行うことが可能となり、市民の利便性が向上し

問の照明や標識類の改善などが必要と思うが考えは。

**答** 高齢社会の進展に伴い、これからの道路整備はシニアドライバーなど高齢者の視点も取り入れる必要がある。基準の改定など国の動向を注視し、認識しやすい路面表示の取り組み(県道神辺大門線) 標示など現状で改善が可能なものは警察等と連携し取り組む。



認識しやすい路面表示の取り組み(県道神辺大門線)

の動向を注視し、認識しやすい路面標示など現状で改善が可能なものは警察等と連携し取り組む。

行政事務の効率化が図られるなどの効果があるが、個人番号を含む個人情報、特定個人情報としてより適正な取り組みが求められる。現在、関係22部署等で構成するワーキング部会で、事務の洗い出しや影響調査などに取り組んでおり、担当部署間の連携を図り、着実に対応する。

一般質問

この定例会では、議案や市政全般について、5人の議員が一般質問(全員が一問一答方式を選択)を行い、活発な議論を展開しました。その概要は、次のとおりです。

\*一般質問の録画放送を福山市のホームページで見ることができます。



連石 武則  
水曜会

増える空き家の対策は

**問** 20年の総務省の住宅・土地統計調査によると、本市の空き家の数は2万7970戸で、住宅総戸数に対する割合は14%である。空き家対策の現在までの取り組みと、今後のあり方は。

**答** 空き家の建物の危険性に関する苦情・相談が18年度から24

度まで47件、25年度は1月末現在24件あり、これら全てに是正指導を行い、これまでに30件の除却等が行われた。

今後は、空き家対策特別措置法が成立後、法律に基づく国の指針が定められると聞いており、本市としては、この指針を踏まえ、空き家等の活用も含め、対策計画を策定する予定である。また、計画を策定する中で、法と条例との関係を整理し、条例制定に取り組む。

\* 3月定例会の一般質問の録画放送を見る場合

福山市のホームページ → 福山市議会 → 議会中継 → 録画放送はこちらから

→ 開催年：選択してください ▼ → 平成26年 → 平成26年第1回(3月)定例会



今川 享治  
誠勇会

### 道路照明灯等の スポンサー制度創設を

**問** 企業や団体、個人等と協働して、道路照明灯や公園のLED照明灯等を更新または新設する制度を創設してはどうか。

**答** 道路照明灯については、過去に電力会社がスポンサーを募って設置したが、その後スポンサー

の経営環境の変化等で、維持管理がされない状況が多数あり、制度が中止された経緯があると聞いている。

費用負担や維持管理等で課題があると考えているが、企業などからの道路や公園への照明灯の寄付は、受領後本市の管理となり、適正な維持管理が可能であることから、設置場所を協議し、お受けしている。



高木 武志  
日本共産党

### 大型道路の建設よりも既設の 道路等の安全対策を

**問** ①少子化の進行や自動車減少時代を迎える中、不要不急の大型道路建設から、維持・補修、長寿命化などに思い切った転換することを求める。

②本市の公共事業を生活に身近な小規模事業優先に転換し、中

小企業への支援、地域経済や雇用の確保を求める。

**答** ①福山道路等の幹線道路網は、本市が備後地域の中核都市として持続的に発展するために不可欠な都市基盤で、引き続き、関係者の理解と協力を得て、事業者である国・県と一体となって事業を推進する。

②これまでも住民福祉の向上を目的とした生活基盤整備に取り組んでいる。発注に当たっては、これまでどおり市内に本店を有する地元企業への発注を基本とする。



岡崎 正淳  
無所属

### 支所について

**問** ①拠点支所への権限移譲の現状分析は。

②南部地域の支所配置の評価は。

③今後の支所機能の考え方は。

**答** ①地域の課題を地域で解決できる体制が整い、主体的な地域づくりと市民サービスの向上につながっており、地域住民や団体と

の連携がより密に図られ、地域が主体のまちづくりが進んでいる。

②各支所とも、相談対応を含め市民に身近な窓口サービスを提供し地域特性に応じたまちづくりの拠点としての役割を果たしている。

③地域の課題は地域で解決できるよう、住民主体のまちづくりの拠点としての役割を果たせることを基本に、体制整備を行ってきた。今後もこうした視点に立ち、協働のまちづくりを基底とした地域づくりが進むよう、支所機能のあり方を検討する。



藤田 仁志  
無所属

### 職員へのFA研修について

**問** 昨年から全職員にFA研修を行っているが、今後のFA研修を生かした取り組みは。

**答** FAは、「誰のため」「何のため」に施策等を行うのかという原点に立った問題解決を図る手法である。

25年度は、基本理念を職場に浸透させるための講演会やその手法を修得するための実践的な研修を実施している。全職場でFAを活用した施策等を推進するためには継続した取り組みが不可欠で、26年度も、手法を修得するための実践的な研修を継続的に実施し、習熟度に応じた実践活動に取り組む。また、既存の取り組みにもFAの考え方を取り入れ、再構築を図りながら意識改革、職場風土改革に取り組む。

25年度は、基本理念を職場に浸

※FA：ファンクショナル・アプローチ → P.12 へ関連記事

## 委員会の活動（1月～3月）

1月から3月末までの委員会の主な活動状況は、次のとおりです。

### ◆常任委員会

	開催日	調査・審査項目		開催日	調査・審査項目
総務	2/17	・市制施行100周年記念事業 ・商業施設における期日前投票所の設置 ・大学院修士課程の設置 など	文教 経 済	2/17	・商業施設の公的利活用 ・中小企業融資資金取扱状況（新規分） ・福山・鞆の浦応援特別大使の取組 ・冬のイベント「ルクシアタふくやま2013」 の実施結果 ・耕作放棄地対策 ・福山港内港地区環境改善実証試験 など
	3/5	・福山市一般職員の給与に関する条例の一部改正		3/7	・次世代エネルギーパーク基本計画の策定 ・いじめ防止基本方針 ・付託された議案（38件）の審査
	3/7	・海外大学との交流協定の締結 ・ホームページのリニューアル ・付託された議案（15件）の審査			
	3/31	・都市ブランド戦略 ・産学官連携ポータルサイトの開設 など			
民生 福祉	2/17	・臨時福祉給付金（簡素な給付措置）及び 子育て世帯臨時特例給付金 ・特定健康診査等の実施状況 ・子ども・子育て支援事業計画二一ズ調査 の結果 ・市民病院の施設整備事業 など	建設 水 道	2/17	・入札制度の改善 ・清掃業務等の契約解除 ・長期未着手都市計画道路検討の取組状況 ・建築物査察等適正化対策委員会 ・三川ダム小水力発電 ・水道事業、工業用水道事業及び下水道事 業の財政状況 ・契約事務の執行 ・ダム貯水量及び降水量の状況 など
	3/5	・児童福祉施設の設備及び運営に関する基 準を定める条例の一部改正		3/7	・付託された議案（12件）の審査
	3/7	・保育所の再整備 ・付託された議案（13件）の審査			

### ◆特別委員会

	開催日	調 査 項 目
競馬場跡地 地活用検討	1/24	・市営競馬場跡地利活用に係る基本構想 ・競馬場跡地利活用検討懇話会の開催結果（主な意見） など
	2/18	・市営競馬場跡地利活用基本構想（素案）

各委員会の詳しい内容は、議会ホームページの「会議録検索」からご覧いただけます。  
なお、委員会記録の作成には日数を要しますので、ご了承ください。

### 6月定例会の開催予定

6/9（月）	本会議（市長提案説明など）	6/19（木）	本会議（一般質問）
12（木）	議会運営委員会	20（金）	常任委員会（総務、民生福祉、 文教経済、建設水道）
16（月）	本会議（一般質問）		
17（火）	本会議（一般質問）	24（火）	議会運営委員会
18（水）	本会議（一般質問）		本会議（委員長報告など）

○本会議・委員会とも午前10時から開会の予定です。（ただし、6月24日の本会議は午後1時から  
です。）

○詳しくは、議会事務局（☎084-928-1136）までお問い合わせください。



# 議員研修会

「未来を拓く」

ファンクショナル・

アプローチとは」

講師

ファンクショナル・アプローチ研究所

横田 尚哉さん



講演中の横田尚哉講師

横田さんは「30年後の子どものために、輝く未来を遺したい」という信念のもと、そのノウハウを深く公開するスタイルで、顧客サービスを最大化させる経営改善に取り組みられています。

提唱されている「ファンクショナル・アプローチ」は、事業改善

チームデザイン、組織改善に効果を奏する手法として各界で注目されています。

本市全職員も問題解決能力の向上と意識改革に取り組むため研修を受けている「ファンクショナル・アプローチ」とは何なのか。

これは、課題に対して全てのモノ、全てのコトにはファンクショナル（役割、効用、働き、意図など）があり、業務を行うとき最初に考えることは「どのような業務なのか」ではなく「何のための業務なのか」、作業をするとき最初に考えることは「どのように作業するのか」ではなく「誰のために作業するのか」であり、問題となっているモノ・コトからあえて離れ、形にとらわれないで本質を捉えるため、「誰のため？何のため？」と考えることから始める問題解決の手法です。

この手法が注目されるのは、人材の育成や職場の改善につながり行政改革に役立つなど応用範囲が広く、効果が大きく、しかも簡単な（3日間）研修で身につけられるからです。

「誰のため？何のため？」に議員になったのか、私たち議員は市

民と行政とのパイプ役としての役割と使命をどのように果たせばよいのかなど、改めて考えさせられたとともに、この手法を今後の議員活動に生かせると確信できる、有意義な議員研修会でした。

◇講師紹介

株式会社ファンクショナル・アプローチ研究所代表取締役社長。顧客サービスを最大化させる経営改善コンサルタント。

## 政務活動費の収支報告書を公開

2013年度（平成25年度）に各会派に交付された政務活動費について、収支報告書などの関係書類を6月2日（月）から公開します。

政務活動費が市政の調査研究活動等（研修、広報など）にどのように使われたかを、支出書や領収書、また市外視察などの報告書等で見ることができます。

これらの書類は、議会事務局に申請すれば、誰でもすぐに見覧（無料）でき、コピー（有料）もできます。

詳しくは、議会事務局庶務課にお問い合わせください。

☎084-928-1123

## 編集後記

2002年（平成14年）4月22日に記念すべき第1号を発行し、以来12年余が経過、今号で50号という節目となる「ふくやま市議会だより」を発行する運びとなりました。

さて、市民に開かれた市議会をめざし、「広報誌」を発行してはどうか、との議論から始まり、名前は、紙面は、発行日はいつ、などの議論を重ね、さらに、質問者の名前を出すかどうか、字体や字の大きさは、記事によっては注釈が必要なのではないか、その都度試行錯誤を繰り返し、今日を迎えました。

今後も編集委員一同、一層研さんを重ね、市民の皆さまに親しまれる「ふくやま市議会だより」をめざしていきます。

ふくやま市議会だより

編集委員会

委員長 法木 昭一

副委員長 榊原 則男

委員 村井 明美

西本 章

大塚 忠司

今川 享治

生田 政代

リサイクル適性

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

【ホームページアドレス】

<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/site/gikai/>

【メールアドレス】

[gikai-shomu@city.fukuyama.hiroshima.jp](mailto:gikai-shomu@city.fukuyama.hiroshima.jp)

印刷／福山エビス印刷(株) ☎084-954-2200